

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
保育・教職実践演習		—————	演習	2	後期
必修・選択	卒業要件				
	資格要件	幼稚園教諭 2 種免許必修 保育士資格必修			
学習目標	<p>本授業は教師（幼児教育者）として最低限必要な資質能力が形成されたかについて最終的に確認するものである。学生が教師としての自分の在り方について考え、不足する部分を補い、課題を見出し、教師としての資質を高めることが目標及びテーマである。本授業は、講義だけではなくロールプレイングやグループ討議、模擬保育等の演習を積極的に取り入れる。これらの講義や演習を通して、教師として求められる①使命感や責任感、教育的愛情について、②社会性や対人能力、③幼児理解や学級経営について、④教師として求められる援助方法について学生が実習や教育課程以外の体験を踏まえて省察し、それまで身につけた知識や技能を活用しながら課題を見出し、改善方法を身に付ける。</p>				
授 業 計 画					
回	項 目	授 業 内 容			
1	教師（幼児教育者）としての使命	ガイダンス及び社会が求める教師の資質について（社会人としてのマナーや教師の使命も含む）（講義・討議：これまでの学習を振り返り使命等を確認する）			
2	特別支援教育と小1プロブレム	特別支援教育のあり方や小1プロブレムへの対応について			
3	幼児理解①	幼児理解の方法と子どもの発達や規範意識・道徳性の芽生えについて			
4	幼児理解②	幼児同士の人間関係、協同的学び、小学校教育への滑らかな接続について			
5	学級経営における担任の役割	学級経営における担任の役割について			
6	現地調査（フィールド・ワーク）	実習園において行事に参加・見学をしながら、行事の進め方、及び保護者・地域社会・教師同士の連携の実際について			
7	保護者・地域社会との連携	保護者・地域社会との連携の在り方とその実際（学級だより・連絡帳など）			
8	教師間の協力体制	日常の連携や園行事における教師同士の連携・協力の在り方について			
9	望ましい教育実践のあり方	教育計画や実習における 1 日実習の内容等の事例を振り返り、省察しながら改善点を見出す			
10	望ましい教育環境	教育環境の重要性とその具体的環境について			
11	内容領域「言葉」の援助	模擬保育を通して言葉の発達の確認や絵本等の児童文化財に関する実践の省察⇒新たな幼児理解⇒計画⇒実践のサイクルを体験し、改善を図る			
12	内容領域「表現」の内「音楽表現」の援助	模擬保育を通して音楽活動に関する実践の省察⇒新たな幼児理解⇒計画⇒実践のサイクルを体験し、改善を図る			
13	内容領域「表現」の内「造形表現」の援助	模擬保育を通して造形表現活動に関する実践の省察⇒新たな幼児理解⇒計画⇒実践のサイクルを体験し、改善を図る			
14	内容領域「表現」の内「身体表現」の援助	模擬保育を通して運動活動に関する実践の省察⇒新たな幼児理解⇒計画⇒実践のサイクルを体験し、改善を図る			
15	まとめ	「学び、成長し続ける保育者」を目指して自らの課題と解決方法を見出す			
参 考 書	小田豊監修 中坪史典編著 「保育・幼児教育方法論」建帛社 2009				
学習上の注意（自己学習、学外学習など）	幼稚園教育要領、幼稚園教育要領解説、保育所保育指針、保育所保育指針解説 埼玉県幼稚園教育課程編制要領（2009 版）、文部科学省・厚生労働省の通知・通達等				
評価の方法と時期	レポート課題、出席状況、授業内に行う演習・発表などから総合的に評価する。				